

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長職務代理者
大分市副市長 久渡 晃 殿

所在地 大分市古国府 4-9-24 コーポ ふじの 101
特定非営利活動法人
団体名 おおいたNPOデザインセンター
代表者氏名 代表理事 山下 茎三
電 話 097-574-5258

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|---|
| 1. 交付決定年月日 | 令和 4年 9月 1日 |
| 交付決定番号 | 協働 第 926 号 |
| 2. 事業名 | <u>おおいたSDGsネットワークミーティング
～おおいたの課題解決行動へ</u> |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | <u>71,200円</u> |
| 4. 補助金の概算交付額 | <u>71,200円</u> |
| 5. 補助金の精算額 | <u>71,200円</u> |
| 6. 事業の成果 | |

★大分市内のNPOや関心ある市民に対して「おおいたSDGsネットワークミーティング」と題して、これまで策定した「SDGs実施指針大分市民版」でも重点に置かれた“SDG11 住み続けられるまちづくり”に関するミーティングイベントを2回、“SDG13 気候変動に具体的な対策を”イベントを1回開催し、NPOや市民に対して大分市の課題解決の行動に導く提言となる機会づくりを行った。また、大分市のこれまでのまちづくりを知り、市民と未来の子どもたちのための施設や場所を提言していく機会づくりも行った。
さらに当法人では継続してSDGs普及啓発と目標達成のための事業展開に努めたい。

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)活動目標に関する報告書
(4)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	特定非営利活動法人おおいたNPOデザインセンター			
事 業 名	おおいたSDGsネットワークミーティング～おおいたの課題解決行動へ			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p><input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】</p> <p><input type="checkbox"/> 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】</p> <p><input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】</p> <p><input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】</p> <p><input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】</p> <p><input type="checkbox"/> 明野【明野】</p> <p><input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】</p> <p><input type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】</p> <p><input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、駕野、賀来】</p> <p><input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】</p> <p><input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】</p> <p><input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】</p> <p><input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市内全域</p>			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	10/4	オンライン	5名	ネットワークミーティング企画会議
	10/22	佐賀関支 所ほか 佐賀関内	大学、N PO関 係 10名	大分市のまちづくりマッチ！ 佐賀関×野津原その2さかのせきエクスカーション 佐賀関の現状を知り、主に半島の名所を巡り、関係人口づくりのためのツーリズムツアーを考案。
	2/18	温暖化防 止NP O事務 所	NPO関 係11 名	事務局から地球温暖化防止活動内容を紹介リーフレット用の活動施策のまとめを行い、活動参画の機会づくりを行った。
	3/4	市男女共 同参画 センタ ー会議 室1	13名	「大分市のまちづくりを考えるフォーラム」佐藤大分大学名誉教授から大分市の都市計画の変遷、現在至るまでのまちづくりを習った。今の子どもたちが望む、大分市に足りない施設や場所など検討した。
	3/5	森のごは んや、 ほか野 津原内	6名	大分市のまちづくりマッチ！佐賀関×野津原その2のつはるエクスカーション 野津原の現状を知り、主に山間部の名所を巡り、関係人口づくりのためのツーリズムツアーを考案。

<p>使用した 広報手段と その効果</p>	<p>使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等） 【印刷物】チラシ各200部 Facebook ページ、インスタグラム、ホームページでの広報</p> <p>今年度行った広報の効果 インスタグラムでの広報で、講師のつながりのある方がその情報を知って参加するなど効果があった。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があらわれたのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>■周辺部への注目をあげる（継続）と自立できるツーリズムの創出 大分市に平成17年吸収合併された「佐賀関」と「野津原」をスポットあてたSDGs的まちづくり支援、お互いの地域のキーマン同士のネットワークが高まった。 ・お互いの地域での集客から、ツーリズム客を他地域に紹介し誘導する ・山と海をつなぐ取り組みの開発</p> <p>■これからの大分市を担う子ども世代の意見を取り入れたまちづくり提言 ・大分市中心市街地での文化施設（気軽に音楽美術を表現できる）や自習学習スペースがほしい</p> <p>市民への効果について（市民にとってどのような効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。）</p> <p>■地球温暖化防止活動の展開 うちエコ診断による家庭のCO2排出量を知ることで対策を考える 子ども向けに自然体験の大切さを教える 市民へのエシカル諸費の啓発 などの理解を得られた。</p> <p>■子育て支援団体との連携 大分市のまちづくりの変遷と子ども世代が望む大分市の未来像を参加者に示し団体との連携でまちづくり提言する機運をつくった。</p> <p>■SDGs的マイクロツーリズムの実践 コロナ禍で、身近の資源を見直し体験を行うマイクロツーリズムが注目、佐賀関と野津原の自然豊かな地形や歴史、特産に触れる体験プログラムを地元のキーマンが展開していくことで、市民への地域参画する機会が増える。大分市の自慢や誇りの再考につながる。</p>
<p>来年度に 向けた課題</p>	<p>【組織体制・運営】 ・当法人内でもミーティングの専任者を設定し、継続的に運営をしていく</p> <p>【波及】 ・SDGナンバーごと、残り7年となった2030年度までの大分での目標設定と具体的な実行計画策定 ・SDGs的ソーシャルビジネスの創出と展開</p>

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称：おおいたSDGsネットワークミーティング～おおいたの課題解決行動へ

1 【収入】 (単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
補助金収入	71,200	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	0	
事業収入	0	
寄附金収入	3,000	NPO1団体
その他	25,092	自己資金より
合計	99,292	

2 【支出】 (単位：円)

項目	金額	説明(積算等)
報償費	/ 25,000	講師(有識者)1名×5,000円、講師(事業者)3名20,000円
旅費	0	
消耗品費	9,885	コピー用紙、文具、インク、エクスカーション用地図
燃料費	0	
食糧費	0	
印刷製本費	✓ 19,407	各チラシ印刷2,357円、資料等雑印刷2,400円、報告リーフレット冊子600部14,650円
通信運搬費	8,400	切手代(開催案内)8,400
広告料	0	
保険料	0	
手数料・委託費	30,000	リーフレット原稿料5,000 リーフレット構成デザイン25,000
使用料・賃借料	6,600	エクスカーション会議室使用料2か所
原材料費	0	
備品購入費	0	
合計	99,292	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

活動目標報告書

1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 目標としていた自己収益金の総額 円

(2) 今年度の自己収益金の総額 円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

当法人の特性で助成金や補助金に沿う活動ではないので、事務局支援の事業拡大による収益向上、NPO個別支援プロジェクトの実効性を高めて、収益性を高めていきたい。

- 記入例：①会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。
②協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。
③来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。 など

2 受益対象者を増加させるための取り組み

(1) 目標としていた受益対象者数 人（延べ人数）

(2) 今年度の受益対象者数 人（延べ人数）

(3) 受益対象者数の増加に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

環境イベントやフィールドプログラム等屋外のイベントでコロナ禍の影響が薄れたので増加傾向に転じた。
ほかの分野のイベントやセミナーに対しても、安全性をうたい集客していく。